

# 第 10 回みえ歯一トネット研修会

日 時 平成31年2月28日(木) 午後1時30分～4時30分

※悪天候等によりやむなく中止となる場合は、当日午前9時までに

三重県歯科医師会ホームページに掲載いたします。

場 所 三重県歯科医師会館 2階 大会議室

※公共交通機関でのご来場にご協力ください。

主 催 三重県・三重県歯科医師会

参加費 無 料

申込方法 下記申し込み用紙にて三重県歯科医師会までお申し込みください。

FAX059-227-0510 申込締切 2月20日(水)

日 程

13:30～13:35 開会・挨拶

13:35～15:05 【講演1】 愛知県心身障害者コロニー中央病院歯科の現状  
～小児・障害者の摂食嚥下障害を中心に～  
愛知県心身障害者コロニー中央病院  
歯科医長 加藤 篤 先生

15:05～15:15 休憩

15:15～15:45 【講演2】 「食べること」を通じて保護者・多職種との  
かかわりを考える  
愛知県心身障害者コロニー中央病院  
嘱託歯科衛生士 田中 恵 先生

15:45～16:00 質疑応答

16:00～16:30 実践発表 聾学校における歯と口の健康づくり  
三重県立聾学校  
養護教諭 山中 千聡 先生

16:30 閉会

※講演内容は裏面をご覧ください。

## 第 10 回みえ歯一トネット研修会参加申し込み用紙

ご所属(会社・団体名など)	お名前
	(ふりがな )
緊急連絡先	職種

お問合せ 三重県歯科医師会事務局 締切2月20日(水)  
お申し込み 〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2  
TEL059-227-6488 FAX059-227-0510



【講演1】愛知県心身障害者コロニー中央病院歯科の現状

～小児・障害者の摂食嚥下障害を中心に～

愛知県心身障害者コロニー中央病院 歯科医長 加藤 篤 先生

コロニー中央病院歯科では年間延べ5000人以上の障害児(者)を診察しています。特に自閉症や知的能力障害などの障害児(者)においてはう蝕や歯周病の継続管理が必須となります。また現在のトピックとして地域で暮らす、身体的にも知的にも非常に重度の障害を持つ重症心身障害児(者)(重症児(者))の増加が問題となっています。そして、多くの重症児(者)は生まれながらにして口腔機能発達不全症を持ち、「食べることに大きな問題を抱えています。それに応えるように当科では重症児(者)の摂食嚥下障害に対し、摂食嚥下チームの設立や摂食評価外来の開始など、積極的にアプローチを行ってきました。人が「生きること」の楽しみの一つである食事が重症児(者)にとってどれほど大変なことであるか、当科での症例を通して「食べること・生きること」についてお話していきたいと思ひます。

講師略歴

加藤 篤(かとう あつし)

2004年	朝日大学歯学部卒業	2008～2009年	浜松北病院歯科口腔外科勤務 非常勤歯科医
2004～2009年	名古屋市立大学病院歯科口腔外科 臨床研究歯科医		名古屋歯科医療センター勤務 非常勤歯科医 名古屋市総合リハビリセンター附属病院歯科
2006～2007年	名古屋市厚生院歯科 非常勤歯科医		非常勤歯科医
		2009年～現在	愛知県心身障害者コロニー中央病院歯科 歯科医長 現在に至る

＜資格＞ 朝日大学歯学部大学院博士号(歯学博士)、日本障害者歯科学会認定医・指導医、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

【講演2】「食べることを通じて保護者・多職種とのかかわりを考える

愛知県心身障害者コロニー中央病院 嘱託歯科衛生士 田中 恵 先生

重症心身障害児の摂食には機能的・構造的な発達の問題や身体の成長、また呼吸との協調性の問題から「安全に食べる」ことが困難な場合が多くみられます。また意思疎通に関する問題から「楽しく食べる」ことへの評価が困難な側面もあります。

成長や発達には個人差が大きく、摂食能力や意欲も差が大きいため、個々の成長に寄り添った介入の必要があります。また介助による食事がほとんどで、母親の身体的・心理的負担も大きいと思ひれます。

今回、多職種と連携を図り継続的に関わったことで、口腔機能の維持・向上が図られた例と、経口摂取を希望する母親の心情に寄り添いつつ児の発達のペースに合わせた摂食方法を獲得した例を報告いたします。

講師略歴

田中 恵(たなか めぐみ)

1994年	愛知県立歯科衛生専門学校卒業	2006年～2007年	愛知県心身障害者コロニー中央病院歯科
1994年～1996年	大塩歯科	2012年～現在	愛知県心身障害者コロニー中央病院歯科
1996年～2004年	(株)日立製作所情報機器事業部 総務部勤労課 健康管理セクター		現在に至る
2004年～2005年	日立社(株)日立システムソリューションズ(株) 人事総務部勤労課健康管理セクター		

＜資格＞ 日本障害者歯科学会認定歯科衛生士、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

【実践発表】 聾学校における歯と口の健康づくり

三重県立聾学校 養護教諭 山中 千聡 先生

聾学校には、幼・小・中・高・専攻科が設置されており、2018年度の在籍幼児児童生徒数は83名である。

2017・2018年度の2年間、一般社団法人日本学校歯科医会の「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」を受け、3つのねらい「①むし歯予防や歯周病の予防方法の理解と実践」「②学校生活における歯・口のケガの防止と安全な環境づくり」「③食べる機能や食べ方の発達支援を通じて実践的な歯・口の健康づくり」について、幼児児童生徒の実態や発達段階に応じた取組を行った。

今回は、当事業を活用した本校での実践を報告する。